語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語 (15) (A Basic Way of Reading Trump-Language)

後藤 寛

英語の修得には早めに Mickey Mouse 風のものではない、本物で略式(informal)のものに触れるとよい。入門期に検定本さえ不消化の状態では参考書や問題集(ドリル)など他に目を向けるのは要領が悪い。雑念なしで検定本3巻のみに集中し(加えて 850 Basic 語を取り込めば必ず将来的に英語で人より先回りできるが)、仏僧の経典読みのごとく九九並みになるまでひたすら唱えることで培った魂としての英語力を土台に、4年目からは本連載で扱っているような、生の例もどんどん取り込んでいけば手早いはずである。この頃からは必ず語彙(vocabulary)力と語法(usage)が問題となる。

語の原義(root sense)は、たとえば un-Basic 語 animosity なら前回冒頭で引き合いに出した Basic 語 animal(呼吸する生き物)やカタカナ語「アニメーション」(animation)からも類推できる。animosity(憎しみ・敵意)には強い息づかい・呼吸が感じられる。unanimous(満場一意の)、magnanimity(寛大さ)、anemometer(風速計)なども同系語で、それぞれ un(= one)、magn(= great)、meter(= apparatus)が組み込まれている〔これらの一括提示は拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(125)参照〕。

ところで、元々がビジネスマンで大金持ちの Trump 大統領であるが、食事の昼食にはファーストフードの cheeseburger と potatoes と coke が好物のことが知られている。彼は3回来日しているが、初めて来日した2年前の秋に日本政府は安倍首相との昼食会の場を、東京都内のファーストフードのハンバーガー店にすることを決めた。

その場所は McDonald's なら彼の名 Donald Trump とも若干重なるがそうではなく、港区・三田にある庶民的なハンバーガー専門店であった。実はここは、かつて日本ベリック・イングリッシュ協会が慣習的に Basic プロパーの研究会会場としていた懐かしい三田福社会館から徒歩3~4分の、Munch's Burger Shack という店である。今年の秋、入るつもりはなく筆者が立ち寄ったときは営業時間帯ではなく準備中であった。

この店にはぎやかな街路沿いにあるのではなくやや奥まった、人通りの少ない、すっきりした路地にあり Trump 大統領と安倍首相が利用するには警備上も物々しくならず、目立たず、安全そうで、回りは静かでもあり、実に絶妙な場所である。外務省の担当職員があらかじめ訪れこの店を選んだのであろうが、なるほどと思った。

munch は「ムシャムシャ食べる」の意味である。この語の音感を感知するとよい。実は擬音語(onomatopoeia)で印欧祖語の音素形(PIE etymon)は /MOM/とされている。burger < hamburger はドイツの Hamburg (ハンブルグ) に由来し {ham (= woods) + burg (= town)} である。shack (掘っ立て小屋) は Basic 語をよりどころに原義の読み取りは可能か? 手元のどの専門文献も原義を明確には示さないが、音感からは Basic 語 shake [PIE etymon は /SKEG/ (/SKEK/)] と同系のようにも思えるがどうだろうか?

いずれにせよ、Trump 大統領のファーストフード好みも、政治手法で手早く即決性を好む彼らしさを感じる。三田の散策で何かと思案していた。今回は次を見てみる。

- (1) In just 2 days, the people of Tennessee are going to elect @VoteMarsha Blackburn to the United States Senate to protect your jobs, defend your borders, and CONTINUE MAKING AMERICA GREAT AGAIN ! Get out on Tuesday and VOTE for Marsha ! (November 4, 2018)

▲昨年 11 月 6 日 (火) の中間選挙 2 日前の tweet で、似た内容の tweets が選挙戦の前日まで出た。Trump 氏は南部テネシー州には特別に力を注ぎ 3 度も遊説した (この州は南北戦争の戦跡の多いことでも知られる)。上院には共和党候補者に投票をと呼びかけている。雇用を保護し、国境を守り、MAGA を貫き通すので当日の投票にはマーシャを！と言っている [Trump 氏は MAGA はほぼ達成したとし、来年の大統領選へ向け目下は KAG (Keep America Great.) を掲げてもいる]。結果的に彼女は当選した。

太線の defend は fence (フェンス・垣根) などとも同系語。

太線の continue は PIE etymon の /TEN/ からとされ、ルーツは「皮の張りつめられた太鼓の連打音」のことだったらしいが、「張りつめていること、つながっていること」の意味から多くの英語が生まれた [PIE etymon /TEN/ は本連載(1)の④でも見た]。同系語には Basic 語 **attention, tendency** など、プラス α Basic 語 *tent* (これは韻文・聖書用語)、また形容詞のプラス α Basic 語 *continuous*、un-Basic 語 *continent* (大陸) がある。さらに *contain, maintain, intonation, etc.* も同系語で、[ten], [tin], [tein] などの音声とその語感を感知したい [他の多くの例は同上拙著、第二部、例(19)参照]。

太線の Basic 語 **make** の root sense (原義) は「変化させること」であり、その変化状態も含意し、意味ベクトルとしては終点 (terminal point) に比重がかかる語である。「変化させ、結果的に固める・固まること」の語感がある。PIE etymon の音素形は /MAG/ とされているが、Basic 語 **mass** も同系であるし、/G/ の痕跡を残す **among** {a (= in) + mong (= to make)} も同系である。un-Basic 語の同系語には *mingle* (混ぜ合わせる)、*magma* (マグマ)、*mason* (石工) などがある [同上拙著、第二部、例(111)参照]。

太線の Basic 語 **again** は、他の Basic 語 **against** と同系で「相対すること、互いに何度も向かい合うこと」が本質的な意味である。ついでながら、against は重要な空間詞であるが Richards, I.A. and Gibson, M.C. 著の *English through Pictures (EP)* では導入されない [EP I ~ III で導入される空間詞は *about, above*, across, after, among, at, back, before, below*, between, by, down, for, from, in, into, of, off, on, out, over, (past), round, through, to, under, up, with, within, without* の 30 語である (括弧付けの *past* は空間詞として分類、*印の 2 語は un-Basic 語)]。

EP といえば、I・II で導入される Basic 語とその導入順「早見表」を本会の本年度用 *Year Book* No.71 で提示したが、この一覧早見表を日常的に使いこなし EP を見なくても瞬間にすべて内容が飛び込んでくるまで頭に叩き込んでしまうのが手早い。

太線の *Tuesday* は、本連載(6)の冒頭で触れたが アメリカの選挙は歴史的に火曜日と決まっている。日曜日は *Sabbath* (安息日) で、かつては投票所まではるばる馬・馬車で行かねばならず次の日の月曜日には宿泊する必要すらあり、選挙日は火曜日となった。大統領候補者指名の予備選の日を英語で *Super Tuesday* と言うが、*Tuesday* の *Tues* には「軍神・戦いの神」の意味があり象徴的である。なお、ローマ神話では「軍神」は *Mars* (マルス・火星) で、たとえばラテン系のスペイン語では「火曜日」は *martes* である。末尾の *vote* は本連載の前々回(13)での文例と、前回(14)の(1)ですで見たと。

(2) We are pleased to announce that Mathew G. Whitaker, Chief of Staff to Attorney General Jeff Sessions at the Department of Justice, will become our new Acting Attorney General of the United States. He will serve our Country well. We thank Attorney General Jeff Sessions for his service, and wish him well! A permanent replacement will be nominated at a later date. (November 7, 2018)

▲昨年の中選挙の翌日に Trump 大統領は突然、ジェフ・セッションズ司法長官を解任した。Trump 大統領は閣僚などを何人も次々と解任してきたが、Yes or No. の論法

で雇い主が簡単に従業員をある日に突然の解雇とするのはアメリカ的な発想であり、特に妙なことではない。下線部の言い方は英語では1つのパターンでもある。

ここでは当面、M.G.ウィテカー司法長官首席補佐官が J.セッションズ氏の代行を務めることとなるという内容のもので、J.セッションズ氏には任期中の務めに対し感謝の念をあっさり付け加えている。いわゆる「ロシア疑惑」捜査と関わったのことで、後に結果的には新司法長官として Willian Barr 氏が就任した。Trump 大統領は元来が会社社長のビジネスマンであり、これまでも社内で都合が悪く、実績のない社員には You're fired! (おまえはクビだ!) と言い何人もあっさり解雇してきたのであろう。

語として太線の attorney [ə'tɔːni] (弁護士) であるが、これと同系の Basic 語はないか? 音形と語形にじっくり注目すると、本連載(7)の①ですでに扱った **turn** や **trouble** などが見えてくる。「かき回し、回転させること」が原義で、プラス α Basic 語 *contour* (輪郭)、*storm* (嵐) など、un-Basic 語では disturb (妨げる)、turbine (タービン)、tournament (トーナメント)、distort (ねじ曲げる)、torture (拷問) などはすべて同系語であるし、他にも多くある [同上拙著、第二部、例(45)参照]。

なお、語法的に1行目の Chief of Staff の後ろの to であるが、他にたとえば Mr. X, secretary [assistant] to Mr. Y (Y 氏の秘書官 [補佐官] X 氏) などと言う。

(演習) 本連載 (11) ~ (15)より

音形と語形から意味を素早く直感するのは今日的な脳科学(brain science)上は右脳の働き、そして論理的・言語的にじっくり分析するレベルとなると左脳の活動ということになる。まずは右脳で直感し、そして左脳で検証という手順となるが、本連載(11)で私案・試案として提示した英語同系語パノプティコン(PPE)は有益なはずである。

1) 次の a) ~ l) の一般語は、下の①~⑫の Basic 語 (イタリック体はプラス α Basic 語) のどれと同系か。

- a) contrast b) ache c) agent d) lie e) harmonica f) mob
g) convenient h) advise i) voyage j) maintain k) magma l) disturb
* * *

- ① **acid** ② **act** ③ **arm** ④ **attention** ⑤ *automobile* ⑥ **country**
⑦ **event** ⑧ **low** ⑨ **make** ⑩ *storm* ⑪ *visa* ⑫ **way**

2) 次の① ~ ⑪の一般語と同系(paronymic)で、括弧の中の文字で始まる Basic 語 (本体の 850 語から) の例をそれぞれ1つだけ示せば何が入るか。

- ① contrast : (a) ② illegal : (l) ③ witch : (w)
④ accomplish : (c) ⑤ remote : (m) ⑥ adventure :
(e) ⑦ provide : (v) ⑧ maintain : (t) ⑨
mingle : (a) ⑩ disturb : (t) ⑪ unanimous : (a)

1) [正解]

a) ⑥	b) ①	c) ②	d) ⑧	e) ③	f) ⑤
g) ⑦	h) ⑪	i) ⑫	j) ④	k) ⑨	l) ⑩

2) [正解 (例)] — 他の正解は本連載(11) ~ (15)参照。

① account	② law (low)	③ wise	④ complete	⑤ move (motion)	
⑥ event	⑦ view	⑧ tendency	⑨ among	⑩ turn	⑪ animal